

一般財団法人日本ヘルスケア協会（JAHI）

## 倫理委員会 第11回会合 議事要旨

開催日時：2021年3月25日（木）10:00～10:55

会場：虎ノ門・JAHI会議室B

出席委員：上原委員長、伊藤委員、太田委員、大友委員（以上、会場参加委員）、新井委員、石下委員、小林委員、万場委員（以上、WEB参加委員）（事務局）佐藤、鈴木  
（外部委員を含めて委員8人が全員参加し、委員会は成立）

議事：

1. 開会
2. 議事
  - （1）日本ヘルスケア協会の動き
  - （2）報告事項 「コロナ禍における感染症対策のための『家庭の感染と予防ガイドブック』発行・配布の経過報告」
  - （3）審議事項・新規申請 「ペットとの共生によるヘルスケア普及推進部会・With コロナ『ペットとの新しい暮らし方～共に健康に暮らすために』動画の制作について」
  - （4）ディスカッション
3. 次回の開催日程調整
4. 閉会

配布資料

- 資料1 JAHI ニュースリリースNo.59
- 資料2-1 『家庭の感染と予防ガイドブック』案審査の経緯
- 資料2-2 『家庭の感染と予防ガイドブック』最終案
- 資料3-1 With コロナ『ペットとの新しい暮らし方～共に健康に暮らすために』動画制作企画・提案
- 資料3-2 動画シナリオ案

議事要旨

1. 本日は、予定通りWEB併用で開催。
2. 事務局からニュースリリースNo.59に基づいて日本ヘルスケア協会の動

きを、(1) 緊急事態宣言の延長の中、サンドボックス Pjt. は WEB 中心に具体的なスケジュールを進めていること、3月25日には昨年10月5日の認定後半年の経過を中間報告する内閣官房の「革新的事業活動評価委員会」が開催され、申請者(JAHI)主務官庁がそれぞれ評価委員会の場で経緯を述べることになっていること。公募に応じて既に7社が参加の申込を行い、さらに7社からの参加オファーがあること。この Pjt では生活者・消費者に向けた野菜摂取の啓発ムック本の制作を進めていること等を報告。(2) 第4回年次大会は9月6日~12日に WEB で開催し、リアル開催が可能になれば、10月1日(金)~2日(土)に実施することを報告。(3) 部会・研究会がほぼ WEB 開催となっていること(①3部会合同セミナー、②ヘルスケア職能研究会・女性の健康セミナー、③在宅介護推進部会・在宅介護商品の棚割り動画、④フィットセラピー部会オンラインセミナー)、(4) 今西会長対談シリーズはニプロ佐野社長、全国スーパーマーケット協会・横山会長の回が行われたことを報告。以上の4件にまとめて報告した。

3. 続いて、報告事項として、前回第10回会合で審査の行われた『家庭の感染と予防ガイドブック』に関して、その後の経過を委員長の指示により事務局から報告。太田委員に託されたパンフレット全体の見直しについて、「ガイドブックのタイトル」、「タイトルを改めたことによる全体構成の見直し」、「環境衛生の部分について、特にファブリックミストの取り扱い」の3点に係る太田委員の指摘内容をおさらいし、これらに対する編集者側の対応を報告。この対応について太田委員から異存が無い旨、述べられた。

以上の報告に対して、委員各位からは、このガイドブックの配布先、配布方法等の質問が出され、事務局から、「ガイドブック表紙の QR コードによるダウンロード」、「JAHI ホームページでの紹介」、「サラヤ(株)等のホームページでの紹介」と回答。委員各位からは各種の類縁機関等にも配布すべきとの提案がなされた。

4. 次に、審議事項として、JAHI「ペットとの共生によるヘルスケア普及推進部会」から提出された、コロナ禍で飼い主がペットとともに健康に暮らすための啓発活動ツール制作の提案について審議。  
委員長の指示により、事務局が提案を代理説明。  
提案では、コロナ禍で再び増加してきたペット飼育が真に飼い主とペッ

トの健康に結び付くように、テーマを絞って動画による「見える化」によって、啓発活動を進める。今回は「イヌ」を対象に、散歩途中での「排泄」と帰宅時の「消毒」にテーマを絞り、同部会の柴内裕子・赤坂動物病院総院長を Pjt.リーダーに、ボランティアを含めて数組の飼い主とイヌが、赤坂公園エリアを散歩し、各々の自宅に戻るまでを撮影する過程で、排泄処理、帰宅時の消毒までの一連の作業を実写する動画を制作する計画。大まかなシナリオ案も提案されている。

以上の説明に対して、委員各位からは次のようなコメントが出された。

- ①**With** コロナと標榜されているのだから、コロナ禍でペット飼育と散歩が飼い主の健康に役立つことがもっと強調されて良いのではないか。ヘルスケア協会の部会が制作する動画らしさを強調したい。メンタル面への一層の言及も必要だと思われる。
- ②散歩中の排泄ケアはしつけないのできているペットなら問題は無いが、大方の普通のイヌは地域に迷惑を掛けるような排泄をしてしまう可能性が高い。優等生ではなく、ごく普通のイヌの散歩が地域に迷惑を掛けないような方法論の啓発をするのが望ましいのではないか
- ③オムツをしているイヌをよく見掛けるが、特に長毛のイヌの場合、後処理を含め、イヌ・飼い主双方に衛生面の懸念がある。普通のイヌにオムツは代案にならないと思う。
- ④帰宅時の消毒に関して、スプレータイプのものは、人体への影響が懸念されるものもある。その点を十分考慮した製品紹介が望まれる。また、「スプレー液を吸い込まないように注意しましょう」等の使用上の注意も必要。
- ⑤本編の中では、製品名・メーカー名等をクローズアップすることはせず、巻末に「参考情報」として紹介する方式は賛成。この場合、できるだけ特定の商品に限定した紹介にならないよう配慮が必要。
- ⑥とはいえ、類似製品が無数にあるものの場合、濃淡をつけないとリストが膨大なものになる可能性もある。この動画の「商品提供協力メーカー」として具体的な企業名を列挙してしまう方法も考えられる。
- ⑦ネコの飼育頭数がイヌを上回ったとすれば、次は「ネコ」編の制作も必要ではないか。

本提案は、上記のような指摘に十分配慮した上で実施されたい、との結論となった。

5. 以上で第 11 回委員会は終了し、委員長から次回開催日程を諮った結果、4 月 23 日（金）13:30～15:00 虎ノ門事務所から WEB 併用で開催されることに決した。